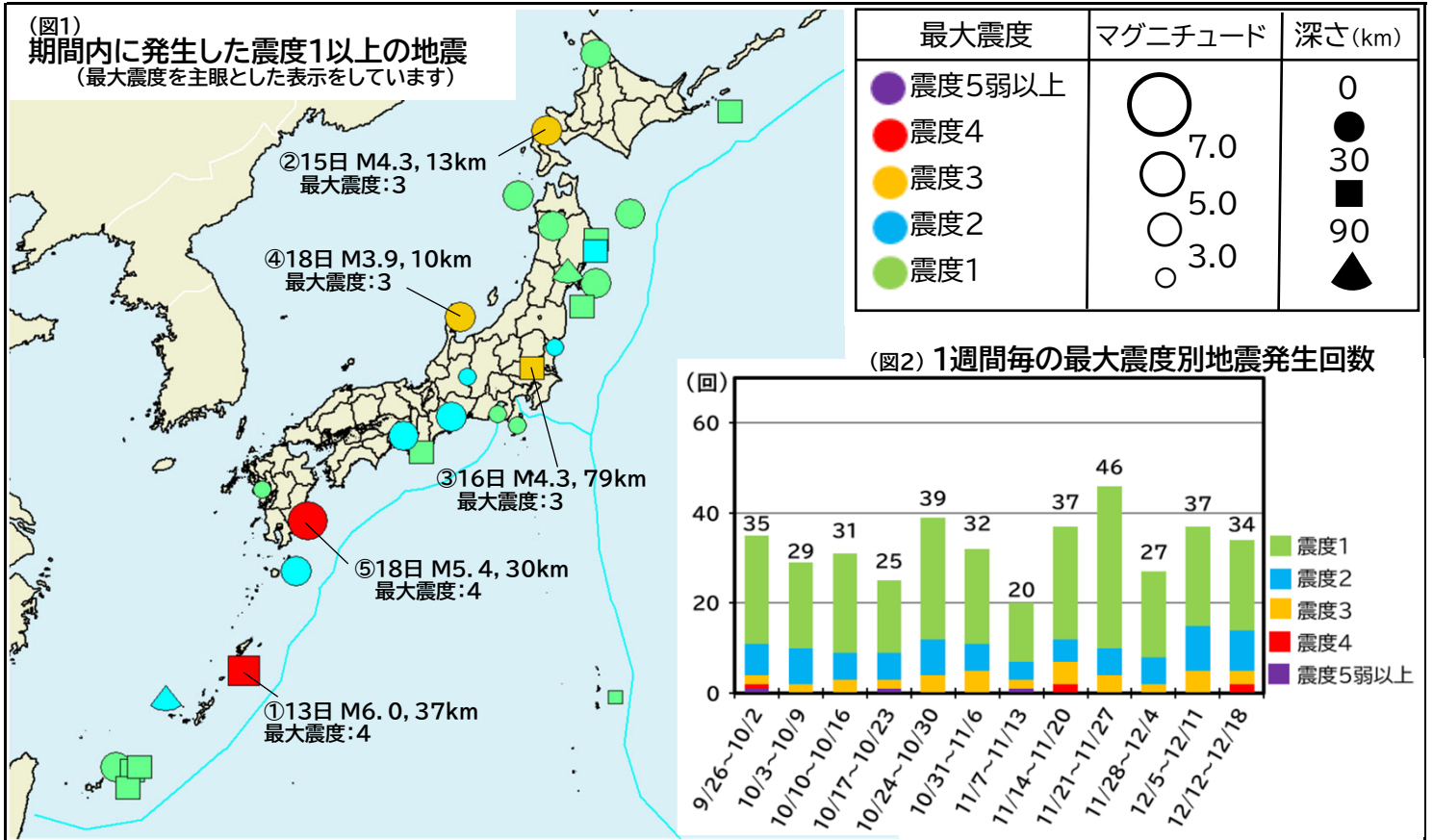


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が34回発生。最大震度は4。■
- ①13日23時25分に奄美大島近海で発生した地震(M6.0、深さ37km)により、鹿児島県瀬戸内町で震度4を観測したほか、鹿児島県及び沖縄県で震度3~1を観測した(トピックス参照)。
- ②15日13時30分に後志地方西部で発生した地震(M4.3、深さ13km)により、北海道ニセコ町、真狩村など北海道西部で震度3を観測したほか、北海道西部で震度2~1を観測した。
- ③16日09時25分に千葉県北西部で発生した地震(M4.3、深さ79km)により、栃木県、群馬県、埼玉県で震度3を観測したほか、福島県から静岡県にかけて震度2~1を観測。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した逆断層型。
- ④18日00時54分に能登半島沖で発生した地震(M3.9、深さ10km:速報値)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県と富山県で震度2~1を観測。この付近では2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になった活動が現在も継続している。
- ⑤18日03時06分に日向灘で発生した地震(M5.4、深さ30km:速報値)により、宮崎県宮崎市と日南市で震度4を観測したほか、九州地方を中心に中国地方や四国地方で震度3~1を観測。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレート境界で発生した逆断層型。

トピックス

- 奄美大島近海の地震活動 ■
- ・13日にM6.0の地震が発生し最大震度4を観測した奄美大島近海(奄美大島の東方沖)の地震活動の特徴などは以下のことが言えよう。
- ・この海域を含む九州から琉球列島にかけての太平洋側海域では浅い地震の活動が活発で、しばしば被害を伴うような地震も発生している。
- ・このうち、1911年11月のM8.0の巨大地震や1995年10月のM6.9の喜界島近海の地震などM7に近い地震が時々している(図3)。
- ・この海域で発生する地震は、南海トラフから琉球海溝との間の海溝沿いの沈み込み帯で発生する地震が主である。
- ・1995年10月の地震では18日にM6.9の地震が発生した翌日にもM6.7が発生し、共に喜界島で震度5(旧震度階級)を観測した。
- ・この地震では、M1に比べて通常より大きい津波が観測された。
- ・揺れによるブロック塀の倒壊や津波による漁船の被害が発生した。

